

肺炎球菌ワクチン接種は
予算化されたか。

保健環境課長 新規事業として、小児用肺炎球菌ワクチン全額公費負担、対象年齢は0歳から5歳まで、任意であり理解の上で、接種して頂きたい。また、ヒブワクチンも新規事業で、全額公費負担として実施したい。

議員 子宮頸がんワクチンを含め、これらのワクチンは、任意接種であるから、よく説明し納得して頂いた上で実施されたい。

議員 子宮頸がん検診の講演会、20代、30代、40代の参加が少ないようだが、これからの保健センターの指導に期待します。

原 秀男議員



案を見ますと町税が大分減少予定とのことですが、

住民税務課長 課税者数の減少と、不況により個人所得が落ちています。法人町民税の増額も見込めません。固定資産税についても土地の下落が続いており、これも回復の兆しはありません。

議員 町長はこの状況をどう感じておられますか。

町長 全庁を挙げて税の拡大を計りたいと思っております。

A 課税者の減少や不況等が影響

Q 町税の減収理由は
一般会計予算案について

平成23年度

議員 現在下仁田町は少子化がどんどん進んでいきます。それに逆行するかのようには大きな学校建設を始め、各種の大きな事業が行われております。予算

すということですが財調の現状はどうなっていますか。

企画財政課長 他町村と比較しますと、県内の町村平均金額にとっても及びません。更に、この数年大企業のために、予算規模が通常年度よりも10億円も増加しております。一方歳入につきましては、人口減少により、普通交付税が大分減少しております。よって取り崩しざるを得ません。

議員 この点に関して町長のお考えは。

町長 経常収支比率の問題も含め、財政の硬直化が進んでおり、改善していかなければならないと認識しております。更なる経費削減に等に取り組みます。

Q 町の将来的な財政について

A 行財政改革を一層進めたい

議員 小学校校舎、中学校体育館、多目的運動場、公営住宅などの建設による地方債の返済計画はど

Q 財政調整基金(財調)の取り崩し理由は

A 交付税が減少したため

議員 今年は財調を取り崩

のようになりますか。
企画財政課長 すべての返済が終わるのは平成41年度から47年度になります。

議員 大変な長期間ですが、国から地方交付税が順調にきての話だと思えます。町として打てる対策は。

佐藤 博議員



議員 給食センターの状況について。
教育課長 学校給食共同調理場は昭和58年に建設し、28年が経過しておりますが、特に不都合という話は聞いておらず支障なく業務ができています。

議員 「ご飯が冷たい」との苦情を聞くが。

町長 行財政改革を一層進めたい。特に人件費の削減等を含め、考えていきたい。

Q 学校におけるいじめの実態は

A ありません

議員 不登校に占めるいじめの実態は。
教育長 桐生で痛ましい事件が発生した後、県教育委員会が調査を実施しました。この時点では3件が認知されていましたが、すでに解決しています。

見されたり等々の可能性もあり、現在までの中間報告です。

議員 随分と時間ばかり経っている「特命機構を持つて究明する。全て合わなければ究明できない。町の代表としてやっていく。」と言いつつ、町長自身は何も対処や調査をしていない。

町長 ご指摘のように調査、あるいは真実を調べると言うことでありますが、現状では手詰まりという状況の報告を受けております。

議員 町長が直接調査するという解釈でよろしいですね。
町長 私人の時間では制約があります。委員会に申し添えます。

議員 結局、委員会に振るといふことか。提出から3か月が経過しても何故報告しなかったのか。

議員 最終報告か。
総務課長 書類が新たに発行されています。